

総合計画実施計画策定及び行政評価シート

対象年度	平成31年度							
事務事業名	中心市街地活性化事業					予算事業名	中心市街地活性化事業費	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 経常経費	
			07	01	03	2001		
							根拠法令	中心市街地の活性化に関する法律
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分	主要事業
	3-3活気にあふれた商業の振興(商業)							重点事業
	②にぎわいのある商業の振興						担当課係等	商工観光課
3空き店舗の利活用								商工振興係
事業期間	継続 (平成16年度～ 年度)							
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
結城市内で起業する方が増え、空き店舗の活用に補助金を交付することで空き店舗が解消され、新しい人の流れにより中心市街地が活性化される。				北部市街地の活性化及び、商店街の振興を目的として事業を開始した。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
創業支援者に対して、創業支援セミナー(経営・財務・人材育成・販路開拓)を実施し、規定の回数を受講した者に、証明書を交付し登録免許税の軽減措置や信用保証料枠の拡大等の支援を受けることができるよう手続きを行う。証明書が発行された者で、中心市街地での創業を希望する場合は、空き店舗の活用に補助金を交付する。				市民 創業希望者 空き店舗を活用する団体及び個人				
				【事業をとりまく環境の変化】				
				中心市街地の商店街は、経営者の高齢化と後継者不足などによる空洞化が進み、空き店舗が増加し、シャッターの閉まったままの建物が多く商店街に活気がない。 しかしながら、コワーキングスペースyuinowaを中心に、新しい人の流れが生まれつつあり、創業に関する問い合わせが増えている。				
【平成31年度 事業内容】		【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】			
創業希望者に対し、国の認定を受けた市の起業・創業支援セミナーを実施し、規定の回数を受講した者に、証明書を交付し登録免許税の軽減措置や信用保証料枠の拡大等の支援を受けることができるよう手続きを行うとともに、空き店舗の活用に対する補助事業を実施する。		創業希望者に対し、国の認定を受けた市の起業・創業支援セミナーを実施し、規定の回数を受講した者に、証明書を交付し登録免許税の軽減措置や信用保証料枠の拡大等の支援を受けることができるよう手続きを行うとともに、空き店舗の活用に対する補助事業を実施する。			創業希望者に対し、国の認定を受けた市の起業・創業支援セミナーを実施し、規定の回数を受講した者に、証明書を交付し登録免許税の軽減措置や信用保証料枠の拡大等の支援を受けることができるよう手続きを行うとともに、空き店舗の活用に対する補助事業を実施する。			
■事業費								
		H29年度	H30年度					
財源内訳	国庫支出金	0	0					
	県支出金	0	0					
	地方債	0	0					
	その他	0	0					
	一般財源	3,251	5,476					
歳入計(千円)		3,251	5,476					
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)					
	09 旅費	3	9					
	11 需用費	8	8					
	13 委託料	1,200	1,200					
	14 使用料及び賃借料	1,040	820					
	15 工事請負費	0	1,439					
	19 負担金補助及び交付金	1,000	2,000					
歳出計(千円)(A)		3,251	5,476					
伸び率(%)			68.44					
備考	総合計画104ページ 予算書126ページ							

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	創業支援セミナー受講者数	人	目標	40.00	40.00	40.00
	結城市商工会議所で開催する「起業・創業支援セミナー」の受講者数		実績	23.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	空き店舗を活用した起業・創業者数	人	目標	1.00	2.00	2.00
	セミナー受講者のうち、空き店舗を活用した起業・創業者数		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	中心市街地において空き店舗が多いため、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	事業を実施する上で、補助を行うことが必ずしも適切な手段とは言えない。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	民間資本による活用へシフトする必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	補助対象以降の継続性を把握する必要があるため、どちらともいえない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	補助対象以降の継続性を考えるとどちらともいえない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	補助対象以降の継続性を考えるとどちらともいえない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
<p>既存の商店街の経営者は年々高齢化し、次代を担う後継者がいなくて世代交代が進まず、閉店する商店が多く、空き店舗が中々減少しない状況に加え、平成32年度に市役所が駅南に移転していくことが決定しているなかで、北部中心市街地の振興を図るうえで、地域及び商店街の活性化の方法について、検証していく必要がある。</p> <p>空き店舗補助金の対象者を、創業者についてはセミナー受講修了（見込）者としているが、早期に開業を予定している者からは、セミナー実施（修了）時期を早めてほしいという声もあり、検討の必要がある。</p>			
<p>対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか</p> <p>平成28年5月20日に結城市創業支援事業計画が国の認定を受け、現在、創業支援ネットワーク協議会を立ち上げ情報の共有化を図っている。今後も、創業希望者に対して、創業支援セミナーを実施するとともに、登録免許税の軽減措置、信用保証料の枠の拡大等、支援を受けることができるメリットのPRについて拡充を図る。</p>			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>創業支援セミナーを受講した者を条件とすることで事業の関連付け、連携が図られている。空き店舗の解消と創業者の増に向けて継続して行っていく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>